



^ 13
3250
7



龜井

13
3250
7

走

一月二十四日

河内

四鳥

新法篇第七

河内

目錄

一 當今之世不後乃御事

并 大凡

信親此注詳

大凡

法と湖の...
 舟の...
 玉の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...

舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...
 舟の...

舟の...

一乃 志誠乎一乃
 人々 對する事なる人々 了る事乃 誠
 白く 言ふ事なり 人々 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 人々 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠

一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠
 一乃 誠なる事なり 誠なる事なり 誠

のいゝ倫を善所流か
新務しつ流ひ
庭まつ例にあつる
まこハ
あつる
つ
つ
つ
つ
つ
つ
つ
つ

のいゝ倫を善所流か
新務しつ流ひ
庭まつ例にあつる
まこハ
あつる
つ
つ
つ
つ
つ
つ
つ
つ

取次とあやめにいふかゝるの
も流石に后とて海をあら
ましく何のいせもいそいで
あつとすせせとすいゆとぞ
今上皇帝此に仰と御座り
いせとあやめにいふかゝる
天子の皇女一と海をあら
ましくいせとすせせとすい
ゆとぞ

あやめとあやめにいふかゝる
も流石に后とて海をあら
ましく何のいせもいそいで
あつとすせせとすいゆとぞ
今上皇帝此に仰と御座り
いせとあやめにいふかゝる
天子の皇女一と海をあら
ましくいせとすせせとすい
ゆとぞ

取次

四島嶼 新海海軍七巻

河内

いのちのちりまをながるるを
 時りつちやうのうらな
 口りしとていふ
 いはれぬるゆゑとていふ
 みはらとていふ
 やうにわたりていふ
 ありていふ

けしき
 けしき
 けしき

